

福祉くんま

2026 WINTER

No. 295



P2 群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所

CONTENTS

特集 P2・3

群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所が移転しました

P3 ◆ 高崎支所のできること

P4-5 TOPICS

- 「身寄りのない高齢者等への支援」を考える研修会
- 令和7年度市町村社協トップセミナー
- なんでも福祉相談
- 令和8年度群馬県社会福祉関係予算に係る要望活動を実施

P6 ◆ 令和7年度全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」
◆ 県社協会員紹介

P7 ◆ ひとり親家庭の方がご利用いただける貸付事業のご案内

P8 ◆ INFORMATION

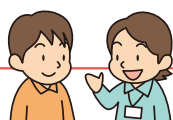
- 年頭のごあいさつ
- 群視協イベント案内
- “つながる”研修会案内
- 読者アンケートのお願い

◆ 高崎支所でできること ◆

西毛エリア（高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、多野郡、甘楽郡）に所在する下記福祉関係施設・職種の職業紹介

求職登録

就職相談・
資格相談



再就職に向けた
不安や悩みに
ついて相談

面接や応募書類
について
アドバイス



条件に合う
求人情報などを
送付



希望する事業所
での見学・
面接を調整

福祉の仕事の
検索



その他、ハローワー
ク等への出張相談
や就職相談会・セ
ミナー等も開催！

取扱分野

高齢者施設、障害者施設、児童施設、保育施設（※）、その他（行政の福祉関係相談所、社会福祉協議会）

取扱職種

介護職、相談・支援・指導員、ホームヘルパー、看護職、介護支援専門員、保育士・幼稚園教諭（※）、理学療法士、作業療法士、栄養士、調理員など

（※）保育分野の就職はぐんま保育士就職支援センターと連携支援

求人事業所からの求人も募集中！

群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所

新住所：〒370-0045

群馬県高崎市東町80-1 高崎市労使会館1階

電話番号：027-324-2761

開所時間：平日（月～金）9:00～17:00

アクセス：JR 高崎駅東口より徒歩6分

駐車場は、構内北側駐車場、満車の場合は向かいのプリンス駐車場を3時間無料で使用できます。

詳細は県社協HP・LINE（※）・

Instagram（※）をチェック

※いずれもマンパワーセンターと
共同アカウントです



県社協HP



県社協 Instagram



県社協 LINE



特集



群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所が移転しました。

令和5年に高崎市労使会館の建て替え工事のため、支所機能を前橋に置いていた群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所ですが、この度、高崎市労使会館の開館に伴い移転いたしました。

新しくなった窓口で、県内西毛エリアの福祉のお仕事に関する就職相談や資格相談をお受けしております！ぜひお気軽にお越しください。

西毛エリアの就職相談会やセミナーも随時開催予定！

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。



労使会館外観

駅から徒歩6分と好アクセス！体育館やホール・会議室などがある施設です。



受付

相談員が常駐しておりますので、お気軽にお声がけください！



検索ブース 最新の求人情報をご覧いただけます。



相談ブース キャリア支援専門員がご相談をお受けします。

なんでも福祉相談

社会福祉法人の「地域における公益的な取組み」の一つとして、群馬県域で実践する「なんでも福祉相談」が創設されました。

現在、群馬県内の社会福祉法人（190法人）に所属する、なんでも福祉相談員（463名）が、地域住民等の生活や福祉に関する困りごと（相談）に対し、分野や対象を限定せず、専門外であってももしっかり受け止めていく総合相談支援を行っております。

解決に向け、必要に応じて適切な支援先（専門機関等）につないだりしながら、専門機関等との連携・協働を図ります。

○連絡先：施設福祉課（TEL：027-212-8287）



出張相談の様子



なんでも福祉相談員

◎出張相談会

なんでも福祉相談員が、地域に出向き、主に福祉イベント等の場において出張相談会を実施し、各種相談に応じるとともに、案内チラシや風船の配布により、事業の広報・周知を行っております。

今後も、出張相談会を実施し、イベントに参加している利用者、住民等に対し、なんでも福祉相談や事業周知を図ってまいります。

令和8年度県社会福祉関係予算の確保に向け、各種別協議会や福祉関係団体が一堂に会し実施した予算要望会議の内容を踏まえ、「福祉人材の確保・育成・定着」「物価高騰への継続的な支援」「老朽化施設の改修等に対する支援」など、予算要望16項目、施策要望44項目について、県に対し説明を行いました。また、10月6日及び11月28日には、本会を含む県内の福祉・介護、医療関係の26団体が、物価高騰対策や従事者の処遇改善に関する要望書を山本知事に直接提出しました。



山本知事へ要望書提出



県への要望内容説明

令和8年度群馬県社会福祉関係予算に係る要望活動を実施

県社協の活動や県内の福祉に関する情報をお知らせします

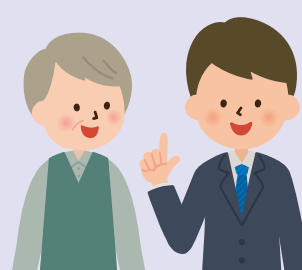
「身寄りのない高齢者等への支援」を考える研修会

令和7年10月2日（木）、群馬県社会福祉総合センター大ホールにて「身寄りのない高齢者等への支援」を考える研修会を開催し、市町村社協や市町村行政職員95名の参加がありました。

高齢化の進展や核家族化に伴い単身世帯が増加する中、身寄りのない高齢者等に対する入院・入所手続きや死後事務等の支援の必要性は、今後さらに高まっていくことが見込まれます。

今回の研修では、弁護士や司法書士の先生を講師に招き、「身元保証」や「死後事務」の課題や「死後事務委任契約」の実務等についてご講義いただきました。

身寄りのない高齢者をめぐる現状や課題について理解を深めるとともに、対象者の意思決定を支援しながらどのように支援をしていくべきかを考える有意義な研修となりました。



研修会の様子

令和7年度市町村社協トップセミナー

令和7年10月22日（水）、令和7年度市町村社協トップセミナーを群馬県公社総合ビル多目的ホールで開催しました。

本セミナーは、今後の社会福祉協議会の方向性について考えるきっかけとすることを目的としており、講師には、社会福祉法人全国社会福祉協議会副会長の古都賢一氏をお招きし、「社会福祉協議会の未来〜これからのビジョンについて〜」と題して、社会福祉協議会の歴史や今後のあるべき姿、役割等についてご講演いただきました。

セミナー当日は、会場及びオンライン合わせて約170名の市町村社協役員や社会福祉法人・社会福祉施設・社会福祉関係団体役員等の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方から、「社会福祉協議会の役割、重要性を認識できた。」「社会福祉協議会についての考え方を深めることができた。」といったご感想をいただきました。



セミナーの様子



セミナーの様子

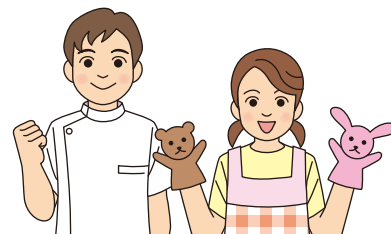
ひとり親家庭の方がご利用いただける貸付事業のご案内

◎ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し入学準備金や就職準備金を貸し付ける制度です。

入学準備金 500,000円以内

就職準備金 200,000円以内



◎ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業

自立に向けて意欲的に取り組む「母子・父子自立支援プログラム」の策定を受けたひとり親家庭の親に対し、家賃支援資金を貸し付ける制度です。

月額70,000円以内（家賃実費分）×12か月

どちらの貸付も所定の期間業務に従事することで、返済が免除となります。
詳しくは、福祉資金課（☎027-255-6031）へお問い合わせください。



詳しくはこちら

令和7年度 第24回全国障害者スポーツ大会

「わたSHIGA輝く障スポ2025」



開会式：群馬県選手団入場行進（陸上、アーチェリー、ボウリング、役員）

本大会は、国民スポーツ大会後に開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。10月25日（土）から27日（月）の3日間、滋賀県内の各会場で陸上、ボッチャなど個人7競技に選手32名が出場し、熱戦が繰り広げられました。31個（金7、銀16、銅8）のメダルを獲得、素晴らしい成績を収めることができました。「メダルが取れてうれしい」「楽しい水泳を続けて頑張る」「みんなの支えがあって金のとれた」「大きな大会は初めてだが、楽しめた」など選手から感動のコメントがありました。

3年後には、本県で「湯けむり全スポぐんま2029」が開催されます。群馬県パラスポーツ協会では、関係の皆様と連携しながら、パラスポーツの裾野拡大と競技力向上に努め、個人7競技、団体7競技の選手の育成・強化に取り組んでいきます。ご支援ご協力をよろしくお願いします。



アーチェリー 左：中島会長 右：田村団長



陸上競技100m

令和7年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

保険金額		年額保険料（掛金）	
		定員	基本補償（A型）
賠償事故	身体賠償（1名・1事故）	1～50名	35,000～61,460円
	財物賠償（1事故）	51～100名	68,270～97,000円
	受託・管理財物賠償（期間中）	100名以降1名～10名増ごと	1,500円
	うち現金支払限度額（期間中）		
	200万円		
	20万円		
	人格権侵害（期間中）		
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）		
	1,000万円		
	1,000万円		
	徘徊時賠償（期間中）		
事故対応特別費用（期間中）	500万円		
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会は、平成14年に知的障害児者の医療費を相互扶助する共済事業を行う「あかぎ互助会」として設立されました。しかし、保険業法の改正により、共済事業を継続できなくなったため、平成19年に、民間の保険制度を活用した補償サービスを提供する新たな福祉団体として再出発し、名称も変更しました。

現在は、知的障害や発達障害のある方とその家族を対象に、病気・ケガ・賠償事故などに備える「生活サポート総合補償制度」を提供しているほか、日常生活や就労、権利擁護に関する相談支援を行っています。全国生活サポート協会が主催する「アールブリュット展」への作品募集にも力を入れ、障害のある方の表現活動を支援しています。



よりよい補償制度をめざして関東甲越ブロックでの勉強会



生活サポート総合補償制度パンフレット



年頭のごあいさつ



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 中島 高志



あけましておめでとうございます。
新しい年を迎えるにあたり、日頃より群馬県の福祉の推進にご理解とご協力を賜っております皆さまに、心より感謝申し上げます。

近年、社会情勢は大きく変化し、物価の高騰や福祉人材の確保の難しさ、地域のつながりの希薄化などが、福祉現場に多大な影響を及ぼしています。さらに、孤独・孤立の深刻化や、子ども・若者を取り巻く環境の変化など、複雑で多様な課題も顕在化しています。

こうした時代だからこそ、人と人、地域と地域が支え合い、ともに生きる「地域共生社会」の実現が、これまでになく強く求められています。

また、災害の頻発や激甚化が進む中で、災害関係法や国の防災施策において「福祉」の視点が明確に位置づけられ、被災者支援における社会福祉協議会の役割も改めて注目されています。福祉と防災を一体的に進めることが「誰一人取り残さない地域づくり」につながります。本会としても、関係機関・団体との連携を強め、平時からの支援体制の充実に努めてまいります。そして本年4月からは、新たな「第4期活動推進計画」がスタートします。

「協働と共創による地域共生社会の実現」を基本理念に、市町村社協、社会福祉法人、行政、企業、地域住民など幅広い関係者と力を合わせ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを力強く進めてまいります。

本年も、福祉に関わるすべての皆さまとともに、群馬の未来を支えるために、確かな一歩を踏み出してまいります。

対話こそ共生社会を拓くカギ

～全盲弁護士、障害者差別解消法を語る～

全盲で司法試験に合格した日本で3人目の弁護士、大胡田誠氏が障害者差別解消法の意義や誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けたヒントを語ります。



大胡田 誠氏

【日時】 令和8年1月21日（水）13:30～15:30

【会場】 群馬県社会福祉総合センター8階大ホール

【申込・問合せ先】（公社）群馬県視覚障害者福祉協会

【申込期限】 令和8年1月15日（木）

【TEL】 027-255-6677

ぐんまの子ども若者支援ネットワーク

令和7年度“つながる”研修会

本研修会は、実践者による基調講演を通し、子ども・若者支援に関わる方々の資質向上を図るとともに、支援者同士のさらなる連携・協働体制の推進を目的としています。



幸重 忠孝氏

【日時】 令和8年1月26日（月）13:30～15:30

【会場】 群馬県社会福祉総合センター2階203会議室

【申込・問合せ先】 群馬県社会福祉協議会
地域福祉課

【TEL】 027-255-6032

申込フォーム



福祉ぐんま

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでもご覧になれます。

〒371-8525（専用郵便番号）

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033（代表）

FAX 027-255-6173

URL <https://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 令和8年1月1日



ホームページ



facebook



Instagram

読者の声をお聞かせください！

いつもお手に取っていただきありがとうございます。

より一層魅力ある機関紙を発行するため、お答えできる範囲で構いませんので、アンケートのご協力をお願いいたします。

回答はこちら↓



2月末
締切

抽選で5名に500円分
フオカードペイが当たる！